フォトピックス

▼わびさびを学ぶ

総合福祉会館で行われた高齢者趣味の教室の茶道教室では、15人の参加者が茶をたててお客をもてなす作法を学びました。

▶34市町チームが健脚競う

2月11日に行われた「かながわ駅伝競走大会」では、34市町の代表チームが競い、海老名市チームは13位。沿道からは、選手たちへ熱い声援が送られていました（写真は第9区で区間新記録を出した秋葉選手）。

まんまるあちゃん

安藤（あんどう）　雅人（まさと）ちゃん

中新田、安藤富士雄・明美さんの長男＝1歳1カ月

松﨑（まつざき）　光央（みお）ちゃん

柏ケ谷、松﨑光宏・慶子さんの長女＝1歳

前田（まえだ）　美結（みゆ）ちゃん

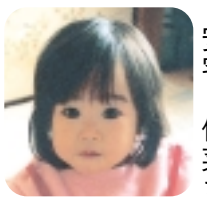
東柏ケ谷、前田道亮・結花さんの長女＝1歳1カ月

池田（いけだ）　美鈴（みすず）ちゃん

上河内、池田勉・幸子さんの3女＝1歳1カ月

須森（すもり）　未来（みく）ちゃん

門沢橋、須森裕也・麻希さんの長女＝1歳1カ月



安宅（あたぎ）　佑菜（ゆうな）ちゃん

上郷、安宅靖典・千穂さんの2女＝1歳

市川（いちかわ）　冬馬（とうま）ちゃん

上今泉、市川弘・幸子さんの長男＝1歳1カ月

原田（はらだ）　ひなたちゃん

東柏ケ谷、原田芳隆・友美さんの長女＝1歳1カ月

このコーナーに掲載を希望する方は…

電話で広報広聴課（内271）へ。ただし、申し込み時点で1歳未満の赤ちゃんに限りますので、お早めにどうぞ。なお、申込数が多く掲載できない場合もあります。

みなさんからの作品　海老名の風景⑯

（▽場所　海老名中央公園　▽撮影日　1月21日　上今泉在住・細川政太郎さん撮影）

（▷場所　下今泉　▷撮影日　1月21日　下今泉在住・神谷康夫さん撮影）

▲手作りみそを寒仕込み

市内農家の女性で構成するさつき会（池亀明子会長・16人）が、恒例の寒仕込みみそ作りを。仕込んだ約250キログラムのみそは、秋の産業まつりで出品されます。

今月のプロフィル

犬のいやしの力広めたい

そり犬と障害児の交流「ふれあい活動」続ける

芳賀　順一さん

（神奈川犬ぞりクラブ事務局長）

そり犬（ハスキー犬中心の北方犬）と障害児との交流活動を続ける神奈川犬ぞりクラブ。芳賀順一さん（45歳）は、高座清掃施設組合（本郷）に勤務しながら同クラブの事務局長として運営に携わっています。

同クラブは平成6年、犬ぞりを通じて犬への理解を深めてもらおうと、現会長の南出さんらと結成。平成7年からは障害を持つ子どもたちとの交流「ふれあい活動」を始めました。春と秋の日曜日に訓練された犬を連れて、県内を中心に各地を訪れます。1回およそ2時間、そり犬とのふれあいや、そり体験などを行っています。活動は、出来るだけ長い時間ふれあいを楽しんでもらいたい、一方で犬の負担は極力少なくしたい。このため、子どもと犬との相性を見極めたり、犬の疲れ具合をみるのも芳賀さんの役目です。

愛犬ボス（6才）と改造そりを引く芳賀さん

神奈川犬ぞりクラブ問い合わせ先
芳賀さん（☎262・1122）
ホームページ
www6. airnet. ne. jp / Ksdcmay /

車に乗ると楽しい、遊びに行かれる、と訓練されている犬たち。現地に着くと、ごく自然に子どもと接します。芳賀さんは毎回、犬のいやしの力を目の当たりにします。

「リハビリで『握る』動作がなかなかできない子が、犬ぞりにつかまることができたり、心の表現が苦手な子が心底楽しそうに笑ったりする場面は印象的です」

「ふれあいながらどんどんリラックスしていく参加者を見て『犬は〝障害〟という言葉を持たない』ことを思い知った。そして『人』を見る前に『障害』を見ている自分を恥ずかしく思いました」

ふれあい活動はすべてボランティア。プライベートな時間はスケジュール調整などに費やされます。芳賀さんは、今後も出来るだけ継続したい、同時に子どもと犬との交流のネットワークづくりも進めていきたいと意欲的です。芳賀さんのエネルギー源は

「みんなが喜んでくれること。それだけです」。

人をいやす犬の不思議な力。同じ力が私たちの心の中にもあると信じたい、お話を聞いてそう思いました。

編集後記

花束、ブーケ、式典での飾り花など、花はさまざまな場面に使われます。それは、主役ではないけれど主役を引き立てるために、そこになくてはならない名わき役だと思います。市内各地で生まれた花たちも、多くの場面で活躍することでしょう。（裕）